技術要件詳細 – 目次

技術要件は、以下の構造で整理する。要件は情報区画（保護情報区画／業務情報区画）ごとに分け、区画別要件と区画横断要件に区分する。

区分	記載箇所	記載内容
■ 要件識別子（要件ＩＤ）の説明		全要件に付与される要件ＩＤに関する説明を示す。
全要件共通	（１）ID命名規則	要件ＩＤの形式及び略称の意味
■ 区画別要件		区画ごとに分けて記載。各区画を「共通」と「サービス」に分ける。
保護情報区画	（２）保護情報区画_共通	保護情報区画の全体に共通する要件（区画定義・接続・認証・権限・暗号化・ログ等）
〃	（３）保護情報区画_サービス	保護情報区画のサービスごとに異なる要件（ファイル共有・コミュニケーション・インフラ提供等）
業務情報区画	（４）業務情報区画_共通	業務情報区画の全体に共通する要件
〃	（５）業務情報区画_サービス	業務情報区画のサービスごとに異なる要件（ファイル共有・オンライン申請・通知ポータル等）
■ 区画横断要件		区画をまたいで適用される要件。機能・運用・非機能の観点で分ける。
横断×機能	（６）区画横断・共通機能要件	区画をまたいで共通適用される機能・セキュリティ機能（認証基盤・区画間通信・暗号化・マルウェア対策・脆弱性監査・ログ分析・基盤機能等）
横断×運用	（７）運用要件	DSG全体に対して行う運用要件（運用体制・監視・変更管理・バックアップ運用・報告等）
横断×非機能	（８）非機能要件	DSG全体が満たすべき非機能（品質）要件（可用性・性能・DR・データ保護・移行性・SLA等）

(1) ID命名規則

要件識別子（ID）の命名規則を示す。各要件には「適用範囲－分類－連番」の形式（非機能要件は先頭に「NF」を付す）で識別子を付与し、要件の整理及び参照に用いる。
識別子中の略称（CUIR、GIR、XR、NF等）の定義は以下に示す。

1. ID形式

ID種別	ID形式	例	用途
区画別・区画横断・運用要件	<適用範囲>-<分類略称>-<連番3桁>	CUIR-COM-001、GIR-WF-001、XR-OPS-001	保護情報区画、業務情報区画、区画横断要件、運用要件を管理する。
非機能要件	NF-<適用範囲>-<分類略称>-<連番3桁>	NF-XR-AV-001、NF-CUIR-KM-001、NF-GIR-PERF-001	非機能要件を管理する。非機能要件では NF を先頭に置き、適用範囲を2要素目に置く。

2. 適用範囲略称

略称	名称	意味・使用対象	備考
CUIR	Controlled Unclassified Information Region	保護すべき情報を扱う区画のID上の略称。	CUI は一般に Controlled Unclassified Information を指すが、本資料では区画識別子として CUIR を用いる。
GIR	General Information Region	業務情報区画のID上の略称。	業務情報区画は「保護すべき情報に相当する情報を取り扱わない区画」として整理し、CUI/non-CUI の制度上の該当性を断定しない。
XR	Cross-Region	区画横断要件のID上の略称。	CUIR/GIR の双方又は区画間に共通・横断的に関係する要件に用いる。
NF	Non-functional Requirement	非機能要件のID上の略称。	非機能要件では先頭に付与する。例：NF-XR-AV-001。

3. 要件分類略称

略称	名称	意味・使用対象	備考
BCP	Business Continuity Planning	事業継続。	BCPやDRに関する要件に用いる。
CFG	Configuration / Asset	構成・資産管理。	IT資産・構成情報の収集・可視化・出力等に用いる。
CL	Cloud	インフラ提供。	仮想サーバ、IaaS管理画面、リソース、テンプレート等に用いる。
CM	Communication	コミュニケーションサービス。	チャット、音声、Web会議、会議記録等に用いる。
CN	Cross Connection / Inter-region	区画間通信。	保護情報区画・業務情報区画・区画横断基盤の間の、区画間通信に用いる。
COM	Common	区画共通要件。	区画定義、対象情報、接続方式、共通統制等に用いる。
EDR	Endpoint Detection and Response /	脅威検知、EDR、感染兆候検知、隔離・遮断関連。	脅威検知・対応機能等に用いる。
ENC	Encryption	暗号化（区画横断の暗号化機能）。	通信・保存データの暗号化適用等に用いる。
FS	File Sharing	ファイル共有サービス。	ファイル登録、閲覧、共有、権限制御、ファイル取扱統制等に用いる。
FW	Firewall / Communication Control	通信制御、ファイアウォール、通信許可・遮断、通信ログ関連。	区画間通信、通信制御、不正通信遮断等に用いる。
ID	Identity	認証・ID管理。	共通ID基盤、SSO、認証強度制御等に用いる。
INF	Infrastructure (Cross-zone Base)	区画横断基盤。	認証・鍵・ログ・監視等、両区画に共通する統制・基盤機能を担う区画横断基
KM	Key Management	鍵管理。	鍵利用管理、復号統制、鍵履歴等に用いる。

(1) ID命名規則

要件識別子（ID）の命名規則を示す。各要件には「適用範囲－分類－連番」の形式（非機能要件は先頭に「NF」を付す）で識別子を付与し、要件の整理及び参照に用いる。

LA	Log Analytics	ログ分析。	複数ログの相関分析・可視化等に用いる。
LG	Log / Audit	ログ・監査（区画横断のログ取得・保管・提供・分析）。	ログ取得、監査情報提供等に用いる。
MW	Malware Protection	マルウェア対策、スキャン、隔離、検知時制御関連。	マルウェア検知、防止、隔離、スキャン制御等に用いる。
NS	NOC/SOC	監視・セキュリティ監視関連。	NOC/SOC監視、イベント検知、初動通知等に用いる。
NW	Network	ネットワーク基盤。	閉域接続、回線、帯域、冗長化、DNS/NTP等に用いる。
OPS	Operations	運用要件。	区画横断の運用要件に用いる。
PT	Portal / Notification	通知・ポータル機能。	通知、ポータル、利用者向け案内等に用いる。
ST	Storage	ストレージ。	ストレージ容量・可用性・暗号化・アクセス等に用いる。
UX	User Experience	利用環境・デザイン。	ブラウザ利用、アクセシビリティ、操作性等に用いる。
VA	Vulnerability Assessment	脆弱性監査。	脆弱性の検査・検出・重大度評価等に用いる。
VI	Virtual Infrastructure	仮想化基盤。	仮想化基盤の提供・可用性・性能監視に用いる。
VM	Vulnerability Management	脆弱性・パッチ対処。	検出脆弱性への対処（パッチ・仮想パッチ・代替策）に用いる。
WF	Workflow / Online Application	オンライン申請サービス。	オンライン申請、申請情報、添付ファイル、承認・差戻し等に用いる。

4. 非機能分類略称

略称	名称	意味・使用対象	備考
AV	Availability	可用性。	サービス継続性、冗長化、単一障害点抑制等に用いる。
BK	Backup / Restore	バックアップ・リストア。	バックアップ対象、復元可能性、保持方針等に用いる。
DP	Data Protection / Sovereignty	データ保護・データ主権。	データ所在、国外移転、削除・返却、監査条件等に用いる。
DR	Disaster Recovery / BCP	災害復旧・事業継続。	副中枢、DR/BCP、RTO/RPO、代替運用等に用いる。
ENC	Encryption	暗号化（非機能）。	暗号方式、鍵長、アルゴリズム等の暗号水準に用いる。
KM	Key Management	鍵管理（非機能）。	鍵ライフサイクル、復号統制等の管理方針に用いる。
LG	Log / Audit	ログ・監査。	ログ完全性、改ざん防止、保存方針、監査証跡等に用いる。
MIG	Migration	移行性・切替。	データ移行、切替、契約終了時移行等に用いる。
PERF	Performance / Scalability	性能・拡張性。	処理性能、同時利用、容量拡張、リソース拡張等に用いる。
SLA	Service Level	サービスレベル・SLA。	サービスレベル、応答、復旧、報告水準等に用いる。

5. 注意事項

CUIR/GIR/XR/NF 等の略称は本資料内のID命名規則であり、防衛省の正式な情報区分名称、制度上の分類又は調達仕様書本文上の正式用語を断定するものではない。

これ以降の情報については、「次期防衛セキュリティゲートウェイの調達仕様書の案に対する意見招請」をご一読いただき、6項の問合せ先までご連絡ください。